

Scopus 2014 年 2 月リリースのご案内

Scopus (スコパス) が 2014 年 2 月 2 日 (日) にバージョンアップされました。今回のリリースでは、以下の方針によって、研究者の作業を効率化することを目指しました。

- 主要なページに新しいデザインを適用し、全体的にクリーンなユーザーインターフェースになっています。
- いくつかの機能が、マウスを合わせたとき、またはレコードを選択したときのみアクティブなるようにしました。

1. 主要なページのユーザーインターフェースを整理し、必要な情報が見つけやすくなりました。
(ホームページ、検索結果ページ、抄録+参考文献ページ、著者プロフィール、所属機関プロフィール、ジャーナルホームページ)
2. エクスポート機能が改善され、Mendeley にも対応しました。

1. 主要なページのユーザーインターフェースを整理し、必要な情報が見つけやすくなりました。

ホームページ



- ① 検索ページの機能は従来と同じですが、デザインを整理し、わかりやすくなりました。
- ② 「収録誌一覧」と「ジャーナル分析」をナビゲーションバーから検索ページのタブと同じ行に配置することにより、主要な検索方法をわかりやすくまとめました。



- ③ 検索履歴は、検索を実行した後にのみ表示されるようになりました。
- ④ 検索履歴に対する各種操作アイコン (RSS、アラート、保存、編集、削除) は、マウスを合わせたときに表示されます。

検索結果ページ

Scopus search results for 'TITLE:ABS:KEY (ips cell)'. The page shows 3,263 results. Annotations include:

- ①: A box highlights the top right of the search results table, showing columns for '出版年 (古い順)', '被引用数', and '関連文献'.
- ②: A box highlights the first row of results, with a mouse cursor hovering over the '関連文献' link.
- ③: A box highlights the left sidebar filters, specifically the '著者名' section.

① 検索結果の並び替えのオプションの選択方法が、バージョンアップ前のドロップダウンボックスから変更されました。初期状態で、使用頻度が高い「出版年」、「被引用数」、「関連度」が表示されるようになり、その他のオプションは「[...]」をクリックして表示します。

② 検索結果の主要な情報を見やすくするために、[抄録を表示] や [関連文献] は、文献にマウスを合わせたときに表示されるようになりました。

③ 検索結果の絞り込み欄でも、[さらに表示...] や [>] は、カテゴリーにマウスを合わせたときに表示されるようになりました。

※ [検索語を追加して絞り込み欄] とまぎらわしいという理由で、クイック検索欄が削除されています。

Scopus search results for 'TITLE:ABS:KEY (ips cell)'. Annotation 4 highlights the top navigation bar, specifically the '検索' (Search) button.

④ 文献に対する各種操作ボタンは、初期状態ではグレースアウトされ、文献を選択してから表示されるようになりました。

抄録+参考文献ページ

Scopus article page for 'Induction of Pluripotent Stem Cells from Mouse Embryonic and Adult Fibroblast Cultures by Defined Factors'. Annotation 1 highlights the '被引用数 6264回 (1996年以降)' (Cited 6264 times (since 1996)) in the article header.

① 被引用数が右上のボックスのヘッダーに表示されるようになりました。

著者プロフィール

- ① 各種指標およびリンクの配置をわかりやすく整理しました。
- ② ページ下部にこの著者の文献リストが表示されるようになりました。この著者の全文をまとめてエクスポートしたり、マイリストに追加したりできるようになりました。
- ③ E-mail アラート、ORCID への追加、著者プロフィールの修正を依頼のリンクが右上にまとめられました。この著者による新規文献の E-mail アラートのリンクが [この所属機関をフォロー] に変更されています。
- ④ 被引用数が右側のボックスのヘッダーに表示されるようになりました。

所属機関プロフィール

- ① 各種指標やリンクの配置をわかりやすく整理しました。
- ② この所属機関による新規文献の E-mail アラートのリンクが [この所属機関をフォロー] に変更されました。

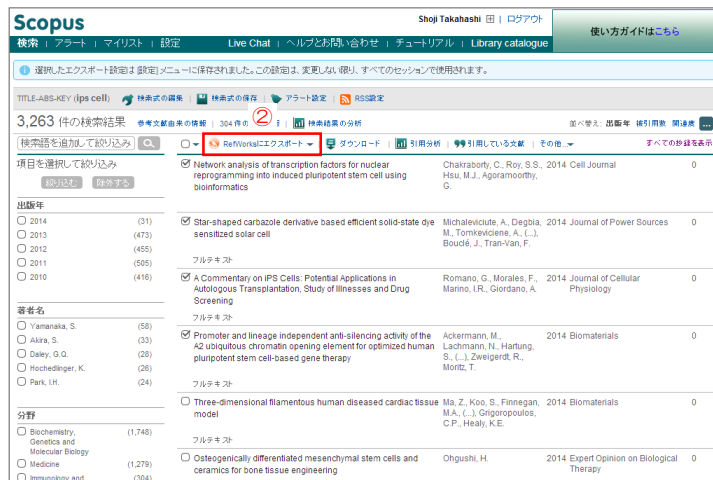
ジャーナルホームページ

- ① ページのデザインを整理し、著者プロフィールや所属機関プロフィールと一貫性のあるものになりました。
- ② ジャーナルの ISSN による E-mail アラートのリンクが [このジャーナルをフォロー] に変更されました。
- ③ ジャーナルの出版年別の引用分析のリンクは、マウスを合わせると表示されるようになりました。

2. 書誌情報のエクスポート方法が改善され、Mendeleyにも対応しました。



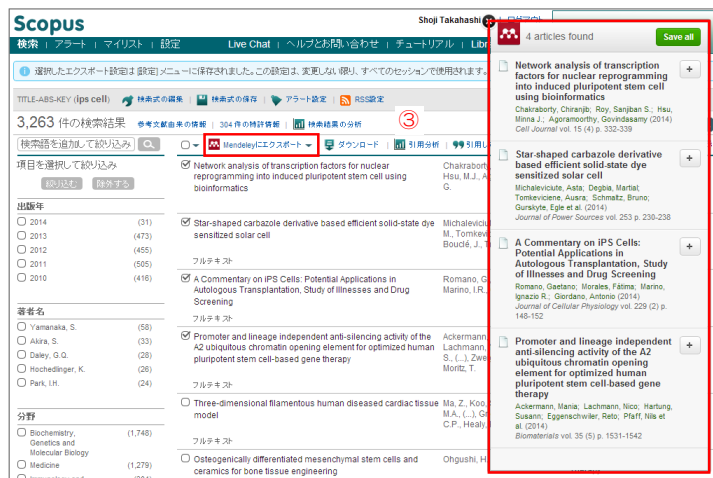
① 検索結果ページ、論文ページ、著者プロフィールページの [エクスポート] をクリックすると、エクスポートオプションのポップアップウィンドウが表示されるようになりました。従来の別ページが表示される形式に比べ、使いやすくなりました。



② エクスポートを実行すると、[エクスポート] リンクが選択したオプションに置き換わります。

選択したオプションはセッション中は記憶されます。他のオプションを選択したい場合は、▼ をクリックして①のメニューが表示されます。

ログインしている場合は、将来のセッションでも選択したオプションが表示されます。[設定] メニューの [エクスポートおよび文献管理ツールの設定] でも、優先するエクスポート方法を指定できます。



③ Mendeley へのエクスポートに対応しました。

①のメニューで [Mendeleyにエクスポート] を選択すると、Mendeley Web Importerが表示されます。[+] をクリックして個別の文献を保存するか、[Save all] をクリックして全文を保存します。